

ビジュアル系
子ども・家族の
理解と支援

八 子どもとのやりとり



家族援助あれこれ

「子どもからこんなことを聞かれたのですが、先生だったらどう答えますか？」、外来でのよくあるやりとりだ。それを思い出しながらまとめしてみた。

こうした問いかけに正解などなく、これらは一つの例に過ぎないことをお断りしておく。

いつものように、マンガは作者の団士郎氏の許諾をいただき、木陰の物語と家族の練習問題から転載しました。

(1) 断りを言えず困ってる

嫌な誘いを断りたいとき、どう言えばいい？



とにかく即答しない！



「ごめん、それ、マジ無理！」って言いたくても言えないときは、「お母さんに聞いてみるから待って」とか「お兄ちゃんに相談してからでいい？」と時間を稼ぐのがいいと思う。

(2) 決められれず迷っている

決められずに迷っていることがあるんだ。
どうしたらいい？



結末予測付き
の選択肢を！



もし〇〇の方を選んだら、
～になると思う。もう一つ
の△△だと、～になるん
じゃないかな。決まったら
教えてね。

(3) 上手な頼み方を知りたい

友だちに頼みたいことがあるんだ。でも、言い出しにくくて。どう言えばちゃんと聞いてもらえるかな？



キモは前振り！



「オレの都合で悪いけど、ちょっと頼まれてもらえない？」と前振りするのよ。そして、「～してくれると有り難いんだけど」、「ごめん、そうしてもらえると助かる」と続けてごらん

(4) 手助けを迷っている

困ってるともだちがいて、なんとか力になってあげたいんだ。でも、ウザイとかお節介って言われるのはイヤだし



薄めの
テイストで!



そういうときは、「手伝えることがあったら言ってね」とだけ伝えて、後は待つくらいがちょうどいいんじゃないかな